

2020年度 事業計画

自 2020年4月1日

至 2021年3月31日

一般財団法人台湾協会（以下「当協会」という。）は、日台の学術・文化の交流と会員および台湾関係者の親善・相互理解・共栄を図るべく、下記の通り事業を推進する。

記

1. 日台相互理解の促進

(1) 台北駐日経済文化代表処、公益財団法人日本台湾交流協会ほかとの連携

相互の行事への参加と交流を通して、日台相互理解の促進に努める。

(2) 懇親会の開催および支援

「交礼台湾の会」を東京で開催するほか、同様の趣旨の会を台湾でも開催し、また、各場所の「台湾の会」等の開催を支援する。

(3) 学術・文化・教育に関する講演会、展示会などの開催または支援

昨年に続き、学識経験者、ジャーナリスト等を講師として講演会を開催し、また日本の古典芸能の一つである講談と落語の会を台湾で開催する。

2. 学術及び文化の振興

(1) 学会活動の支援

日本台湾学会、天理台湾学会、台湾史研究会などの活動を支援する。

(2) 日本文化紹介の支援

台湾寄席、絵画展、音楽会などを通じて、日本文化の紹介を支援する。

3. 青少年の健全な育成

(1) 日華青少年交流協会との連携による大学生の日台相互訪問交流研修の支援

(2) 台湾留学生の支援

台北駐日経済文化代表処教育部他と連携して、台湾からの留学生を対象に、日本への理解や就職支援に資する交流会を実施する。

(3) 中学、高校の台湾修学旅行生への支援

台湾修学旅行支援研究者ネットワーク（SNET台湾）及び関係機関と連携して、台湾に残した日本人の足跡を次世代に伝える。

4. 慰霊法要

(1) 築地本願寺台湾関係邦人物故者追悼法要

10月3日(土) 築地本願寺において台湾関係邦人物故者追悼法要を斎行する。

(2) 台湾における日本人物故者慰霊祭等への参加

台湾日本人会が主催し、当協会と公益財団法人日本台湾交流協会が協賛する慰霊祭と、潮音寺で開催されるバシー海峡慰霊祭に当協会より参列する。

(3) 台湾出身戦没者の慰霊

5月21日(木) 東京台湾の会、日本李登輝友の会との共催で、奥多摩台湾出身戦没者慰霊碑・慰霊塔前において慰霊法要を斎行する。

5. その他法人の目的を達成するための活動

(1) 会報

「台湾協会報」は当協会の広報機関紙であり、当協会と会員相互の連絡媒体としての役割を担っているが、そのほかに歴史の記録としての役割もあるので、質の高い編集に努め、毎月定期的に発行して会員および関係先に配布する。

(2) 台湾関係重要図書・資料の収集および活用利便性の向上

台湾関係図書、地図、写真等諸資料の充実を図り、一般研究者および会員の活用利便性向上に努める一方、管理業務の軽減を図るため、原則事前予約制を採用する。

(3) 台湾協会70年史の作成

過去70年分の協会報と年表・資料をDVD化した本体、および解説冊子をセットとした『台湾協会70年の歩み』を作成し、2020年9月の交礼台湾の会で披露する。

(4) 情報発信力の強化

HPの改善、IT化の促進を行い、新規会員勧誘にも繋がる「協会の見える化」に努める

以上